

日本人のほとんどが
全く知らない
条約（合意）

日本の主権を奪う！
(可能性がある)

今そこに
ある危機！

WHO パンデミック条約 (合意)

世界ではWHOから脱退する

動きがどんどん加速しています

本当にありますか
そんな酷い条約

- ワクチンの義務化
- 自由や人権剥奪
- ワクチンパスポート

- WHOに絶対服従
- WHOが強制力をもつ立場へ
- 言論統制・情報の検閲

- 具体的な治療法の義務化
- ロックダウン・国民監視
- ワクチン被害者（補償）の制限

あるんです…

緊急の名の下 WHOが法的拘束力で一方的に 指示強制可能な条約（合意）！です

世界保健機関(WHO)は各国に公衆衛生に関する勧告をする組織です。しかし、新型コロナパンデミック対策をmRNAワクチンで進めて、大きな失敗をしたのにもかかわらず、新たな法的拘束などを伴う条約の制定を進めています。それが国際保険規則（IHR）改悪とパンデミック条約（合意）です。

パンデミック時に国家主権や人権の侵害、ワクチンパスポートやワクチン接種の義務/強制、言論の取り締まりなどが改定に含まれ、枠組みだけで中身は不透明なまま様々な条約案の変更が行われています。この条約改訂規定は今年のWHO総会で可決が予定されています。我々国民には知る権利がありますが、これだけのひどい条約にもかかわらず、国民の知らないところで、強引に採決に持ち込むとしています。私たちの日本がこの条約を締結しないように早急に反対していく必要があります。

※裏面の署名サイト&署名欄も合わせてご協力お願い致します♪



パンデミック条約説明動画



World Health Organization



そのWHOに、ビル&メリンダゲイツ財団やワクチン関連団体がアメリカやドイツより多い資金を提供し、利益相反のもとで発言がWHO政策に影響力を持っていることから、この条約の規定の経緯と信憑性に不信や疑念が募ります。

『ワンヘルスフンワールド』とは『公衆衛生全体主義』につながり、各国の主権を超える強い権限をWHOに与えるというあってはならない内容です。その危険性に気がついた国やアメリカが脱退しました！

日本はその危険性を公にするどころか推進し、条約と歩調を合わせた国内の法整備を閣議決定を通さずに行われたものもあり、国民の反対意見を無視。その内容も私達は知る事が出来ず、選挙で選んでもいい人が勝手に国家主権を超えてしまう条約（合意）の可決が今、水面下で予定されています。

YouTube



元WHO職員
の告発！



自由と健康を護る会

Guardians
for Health & Freedom

ガーディアンズ
フォーヘルスアンドフリーダム
ホームページ
賛助会員
ボランティア
無料会員



募集集中



★世界の『自由』と『健康』を護るために、今【ガーディアンズ】が日本から誕生致しました★

G509